

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 合同部活動に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 自治体名

### （地域における現状・課題）

- ・顧問を担う種目を経験したことのある教員が、市立中・義務教育学校全体の30%程度にとどまっており、質の高い専門的な指導が行いにくい状況となっている。
- ・指導者の高齢化により、近い将来、持続可能な指導体制を維持することが困難になることが危惧される。
- ・少子化の影響により、学校規模の縮小化が進んでおり、異年齢との交流の中で、人間関係の構築、生徒自身の子自己肯定感を高めるなどの学習指導要領に謳うような充実した活動が成り立ちにくくなってきている。

### （合同部活動の取組概要）

実践研究校：井波中学校、利賀中学校、城端中学校、平中学校、  
福野中学校、福光中学校、吉江中学校、南砺つばき学舎

活動種目：野球、バスケットボール、ソフトテニス、バドミントン、卓球、柔道、剣道  
会費等：合同チームで大会に参加した場合のみ。

活動場所：中学校グラウンド・体育館、市社会体育館、市スタジアム等

指導者：外部指導者、部活動指導員、スポーツエキスパート

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス

### （実践研究の成果）

- ・少人数の学校同士が合同練習を行うことで、いつもと違う練習ができ、生徒にとって充実した練習ができた。
- ・他校の先生や指導者から指導を受けることができ、生徒にとって充実した練習につながった。
- ・他校の上手な選手や同じぐらいのレベルの選手と練習ができ、生徒にとって刺激になった。
- ・トレーナーや実績のある指導者の指導を受けることで、技術の向上につながった。
- ・合同練習を通して、他校の生徒とも交流ができ、今後拠点校化・地域移行に向けて仲間意識が育まれた。

### （運営体制図）

